

生誕 140 年

小杉放菴 所蔵名品撰

小杉放菴（1881～1964）は今年、生誕 140 年を迎えます。これを記念して、当館が開館以来収集してきた小杉放菴作品の数々から厳選した逸品をご紹介します。

日光に生まれた小杉放菴は、少年時代に五百城文哉の内弟子となって洋画の基礎を学びました。そして上京後、画塾・不同舎での研鑽、従軍記者としての日露戦争派遣、新聞・雑誌での漫画の仕事といった経験を積み、文部省美術展覧会（文展）で受賞を重ねたことで、新進気鋭の洋画家として注目される存在となりました。

そして、1913（大正 2）年から翌年にかけてのヨーロッパ巡遊中、〈東洋〉に帰るべき道を見出したことは、画家としての価値観を変える大きな出来事となりました。帰国後、横山大観に誘われ、再興された日本美術院に参加して洋画部を牽引。同院脱退後、1922（大正 11）年には今も続く洋画団体・春陽会を結成し、リーダー的存在として活躍しました。小杉は、この間に数多くの日本画も描いており、それは、ときに日本美術院の画家たちにも影響を与えたと指摘されるほどの、独学とは思えない質の高さを持っていました。単純に洋画時代、日本画時代と割りきることの出来ない点に、小杉放菴の美術史的な位置づけの難しさがあり、また、魅力が秘められているともいえるでしょう。

今回の展覧会では、こうした小杉放菴の明治・大正期の知られざる逸品から、その代名詞ともいえる昭和期の花鳥画や道釈画の数々により、その魅力をお伝えしたいと思います。

■ 開催概要

会期 2021年9月11日〔土〕～11月14日〔日〕

主催 公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館／日光市／日光市教育委員会／下野新聞社

休館日 毎週月曜日（祝日は開館し、その翌日を休館）

入館料 一般 730（650）円、大学生 510（460）円、高校生以下は無料

開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

※（ ）内は20名以上の団体割引料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、日光市公共施設使用料免除カードの交付を受けた方とその付き添いの方1名は無料となります。

※第3日曜日「家庭の日」（9月19日、10月17日）は、大学生は無料となります。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、会期および催し物等に変更が生じる場合がございます。ご来館にあたっては、事前に当館ホームページ、電話などで開館状況をご確認ください。

■ 会期中の催し物

担当学芸員によるギャラリー・トーク

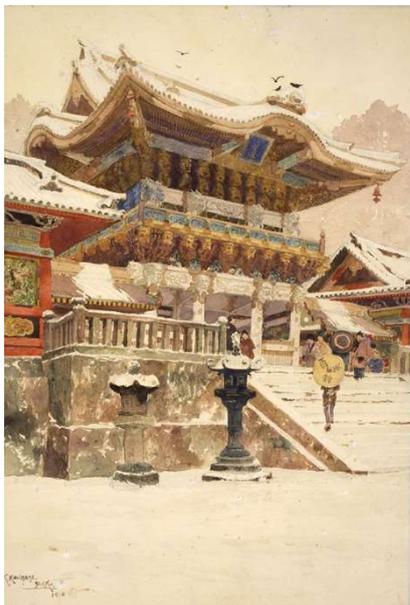
9月11日〔土〕、10月10日〔日〕、11月13日〔土〕

各時間＝午前11時～（1時間程度）

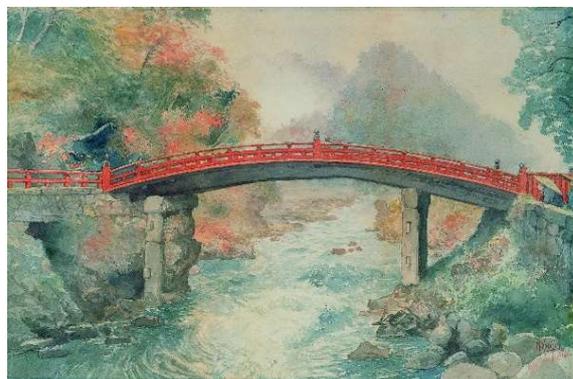
■ 展覧会の見どころ

開館以来24年間にわたって収集してきたコレクションから厳選した約70点の作品により、1900年代から1960年代、年齢にすれば20代から80代まで、半世紀以上にわたる小杉放菴の画業を一望いたします。

● 1900年代——青年時代の精緻な水彩画

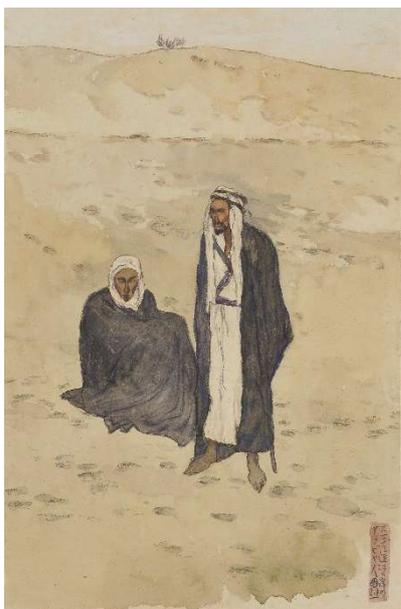


1 国府浜国太郎（小杉放菴の幼名）
《東照宮・陽明門》
1900年 紙／水彩

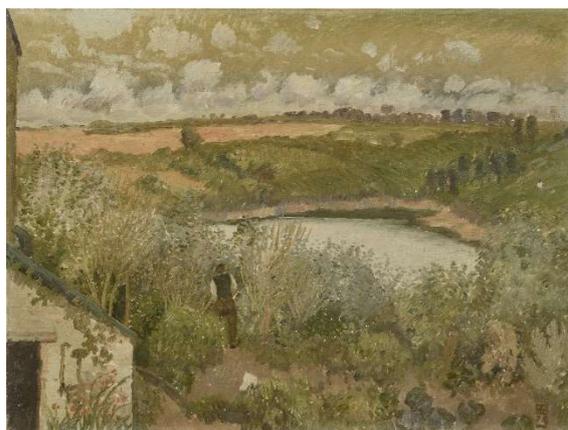


2 小杉未醒《神橋》
1901年頃 紙／水彩

● 1910年代——ヨーロッパ遊学で学んだもの



3 小杉未醒《スエズ運河の岸のアラビヤ人》
1913年 紙／水彩



4 小杉未醒《入江の一角（ブルターニュ風景）》
1913年 カンヴァス／油彩



● 1910年代——横山大観と共に歩んだ日本美術院時代



5 小杉未醒《飲馬》
1914年 カンヴァス／油彩
再興第1回院展出品作



6 小杉未醒《煉丹》
1917年 絹本着色
小杉未醒近作展出品作

● 1920～30年代——東洋の油彩画を切り拓く



7 小杉放庵《母子採果》
1926年頃 カンヴァス／油彩



8 小杉放庵《巖島風景》
1933年 カンヴァス／油彩

● 1930～40年代——水墨を極め、花鳥に遊ぶ



9 小杉放菴《漁樂図》
1930年代前半 紙本着色
幸文庫旧蔵



10 小杉放菴《春鳥》
1940年頃 紙本着色

● 1950～60年代——晩年の境地



11 小杉放菴《踊る良寛》
1950-1960年代 紙本着色



12 小杉放菴《賣花翁》
1950年代 紙本着色

生誕 140 年 小杉放菴所蔵名品撰
広報用画像申込書

FAX: 0288-50-1201 E-mail: sakouchi-yuji@khmoan.jp
小杉放菴記念日光美術館 迫内行

■ 画像ご使用に際してのお願い

- ・ご希望の図版の左枠内に✓を入れて、FAX かメールにてお送りください。
- ・使用目的は、本展のご紹介のみに限ります。
- ・画像は、原則、全図でご使用ください。トリミング、部分使用、文字のせは無断で行なわないよう、お願いいたします。
- ・掲載する場合は、作者名と各画像のキャプションを必ず記載してください。
- ・画像のご使用は1申込につき1回とし、使用後のデータは破棄してください。
- ・基本情報確認のため、展覧会担当まで一度校正紙をお送りください。
- ・掲載見本を展覧会担当までご送付いただきますよう、お願いいたします。

✓	No.	作品
	1	国府浜国太郎（小杉放菴）《東照宮・陽明門》 1900年 紙／水彩
	2	小杉未醒《神橋》 1901年頃 紙／水彩
	3	小杉未醒《スエズ運河の岸のアラビヤ人》 1913年 紙／水彩
	4	小杉未醒《入江の一角（ブルターニュ風景）》 1913年 カンヴァス／油彩
	5	小杉未醒《飲馬》 1914年 カンヴァス／油彩 再興第1回院展
	6	小杉未醒《煉丹》 1917年 絹本着色 小杉未醒近作展出品作
	7	小杉放菴《母子採果》 1926年頃 カンヴァス／油彩
	8	小杉放菴《巖島風景》 1933年 カンヴァス／油彩
	9	小杉放菴《漁樂図》 1930年代前半 紙本着色
	10	小杉放菴《春鳥》 1940年頃 紙本着色
	11	小杉放菴《踊る良寛》 1950-1960年代 紙本着色
	12	小杉放菴《賣花翁》 1950年代 紙本着色

貴社名： _____

雑誌名等： _____

ご担当者名： _____

Tel： _____

Fax： _____

E-mail： _____